



6月1日、28日 子育保育園・南小学校で交通安全教室 交通ルールを学び普段から安全に

子育保育園と南小学校で交通安全教室が開かれ、子どもたちが交通ルールを学びました。

子育保育園では6月1日に行われ、年長児が路上に出て、安全な横断の仕方を学びました。園児たちは、交差点で横断する前にまず止まり、安全を確認してから手を上げて渡っていました。

また、南小学校では6月28日に3年生が自転車の乗り方を学びました。自動車が行き来する路上を想定し、安全確認をしながら自転車に乗る練習をしたほか、実技テストにも取り組んでいました。



左右を確認したら横断歩道を渡ります(子育保育園)



自転車の乗り方も確認(南小学校)



ゆっくり進む練習(南小学校)



実技テストがスタート(南小学校)



6月6日 後藤農園でイベント みんなで「ひまわり畑」の種まき

後藤農園の後藤宏明さん(滝寺)の畑で「みんなでひまわり畑をつくろう in 昭和村～2021～」が行われ、来場者がひまわりの種をまきました。

このイベントは、コロナ禍で多くの方がストレスを感じた生活を余儀なくされている中、感染症対策を徹底したうえで皆さんと笑顔で「ひまわり畑」をつくりたいと後藤さんが企画したもの。事前の簡易抗原検査や当日の検温を行った参加者は、多種多様な9,000粒のひまわりの種を畑に植えました。



ひまわり畑づくりに参加した皆さん(提供写真)



4月23日 緑化推進功労「内閣総理大臣表彰」 キヤノン電子(株)赤城事業所が受賞

キヤノン電子株式会社(橋元健社長)赤城事業所(森下)は、内閣府主催の「第15回みどりの式典」において「令和3年度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。この表彰は、緑化推進運動に大きな功績があった個人または団体に授与されるもの。

同事業所は、平成11年の操業開始以来「森の中の工場」を理想に掲げ工場緑化に取り組んでおり、サクラやサツキ、サザンカやモミジなど約60種15,000本が周辺環境と調和して、美しい景観を作り出しています。



紅葉したドウダンツツジ(キヤノン電子赤城事業所)

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題などをダイジェストでお知らせします。

6月20日 道の駅あぐりむ昭和 レタス収穫体験が盛況

道の駅「あぐりむ昭和」でレタスの収穫体験が行われ、観光客や家族連れでにぎわいました。

このイベントは、県内有数の農産物であるレタスをPRしようと企画されたもので、来場者は同道の駅隣接の「あぐりむ農園」でレタスとジャンボニンニクの収穫を体験しました。家族で訪れた今井佑己さん(高崎市)は「コロナ禍でなかなか外に出られない中、久しぶりに子どもたちが生き生きとレタスの収穫を楽しめてよかったです」と話していました。



子どもたちにも好評だったレタスの収穫

6月7日 フラワーメイト昭和会が地域貢献 「昭和の湯」入口に花植え

フラワーメイト昭和会(西山英一会長)の皆さんが、村総合福祉センター「昭和の湯」の玄関前の花壇に花植えを行いました。

この花植えは、同会が地域貢献として毎年行っているもの。この日は、西山会長が育てたサルビアの苗108本が丁寧に植えられました。

西山会長は「温泉に来られる方々に花を見て楽しんでいただき、少しでも気持ちを和ませてもらえれば」と話していました。



花を植えたフラワーメイト昭和会の皆さん

7月4日 役場で安全祈願祭 新庁舎建設工事の安全を願う

役場の新庁舎建設工事に向けた安全祈願祭が、役場敷地内で開かれ関係者が出席しました。

新庁舎は、現在の敷地内に3階建てで新築され、延べ床面積は約2,750平方メートル。令和5年春の供用開始を予定しています。堤村長は神事後、「利用しやすく防災拠点としてもしっかり機能した庁舎にしたい」とあいさつ。施工者を代表してあいさつした沼田土建の青柳剛社長は「村民の心の支えになる庁舎を建設したい」と述べました。



立砂に鍬を入れる堤村長

6月21日 第一保育園 園児がサッカーを体験

第一保育園でサッカー教室が開かれました。

この日は、群馬県サッカー協会から暮井直親さん、佐久間竜さん、山田智也さんがコーチとして来園。サッカーボールに親しみつつ、サッカーの基本や楽しさを年長児に伝えました。園児たちは、ドリブルをしながらゴールを目指し、思い切りシュートを決めていました。同協会の暮井さんは「サッカーの楽しさに触れて、みんながサッカーをするきっかけになってくれれば」と話していました。



ドリブルしながらゴールを目指す園児たち